

## Part1 実践編

### テールランプ分解に挑戦！

 現行車両のほとんどが、熱で剥がれないタイプのテールランプだから、超音波カッターが大活躍。裏側をカットしたり、レンズ自体を剥がす場合など、ケースバイケースだが、慣れれば難しくないぞ！

現行はオレンジモデル・旧モデルはブラック。※性能は同じ

#### CASE1

##### テールの裏側を切って基板を入れてみよう



熱で剥がれないタイプのテールランプは、裏側をカットして基板を入れてやる。練習した通りにやれば難しいことはない。



開けたところへ作っておいた基板を収める。

#### CASE2

##### テールのレンズを切ってみよう



裏側から切らずにレンズを切ってみよう。ここに刃を入れてしていくか入念に考えてからやるのがベスト。可能ならジャンク品入手して練習です。

 一言で「プラスチック」と言っても色々な種類がある。テールなどの硬いプラスチックを切る場合は、5分に1回休みましょう。一気に切るとカッター保護回路が働き、最悪の場合は破損します。

## Part3 実践編

### LEDリフレクター取付例

LED加工初体験の担当：加藤ケンが、LEDリフレクター（リアフォグ）製作に挑戦！

当然、ブラック超音波カッターも初体験です！

担当：加藤ケン

現行はオレンジモデル・旧モデルはブラック。※性能は同じ



リフレクター（リアフォグ）をつけたい！

リアバンパーの取付箇所を開口しちゃうぞ！  
FRPは切れないが、純正バンパーの多くはカット可能。ミニオの場合は超余裕でした♪  
念のため、素材は確認してね(^\_-)

てんちょ、意外とできちゃうもんですね♪  
自分でできて大満足(^\_-)  
めっちゃ自信が付きました～！

 テミオ（DE）の、リアフォグ。なぜだかティーラーのオプションには無い（海外モデルにはある）。ごんた屋に来たからには、LED加工できないと…って事で、何をかもが初挑戦！

1秒間に40000回振動！



キレイに開口できた～！

キミも Let's try!

取付もバツチリ♪

## Part2 実践編

### ダッシュボード周りの加工

 タコメーター付けたいけど、ポン付けや「いかにも付けました！」…ってなるやん？  
それを避けるために一工夫。超音波カッターあつたら楽勝やね♪

現行はオレンジモデル・旧モデルはブラック。※性能は同じ



DIY派のキミにピッタリな工具  
ブラック超音波カッターの出番だ！

ここにタコメーター付けて、スポーティにしたい！  
作業的には、結構簡単。メーターフードを取り外して、カットする箇所をマークしたら、あとは超音波カッターで切るだけ♪

ごんた屋スタッフ（仮）  
中澤サン



思い通りに加工できる！

中澤サン

めっちゃ良くなったやろ～♪  
超音波カッター使えば、メッチャ簡単にできるよ。  
みんな…真似してえよ？(^\_~)

こんな事も朝メシ前のが  
ブラック超音波カッターなのだ



タコメーターに限らず  
各種スイッチやETCなどの取付にも大活躍♪

## Part4 応用編

### まずさわってみよう！

R3I-GONTAは、ごんた屋ショールーム（京都府木津川市）で触ることができるぞ！

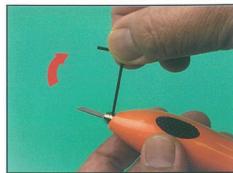
気軽にショールームに遊びに来てさわってみよう♪

レンタル（有償）もやっているので、気軽に問い合わせてね。

動画をチェック



現行はオレンジモデル・旧モデルはブラック。※性能は同じ



金属が冷えてゆるんでいることがあるので、使用前には必ずモニタを締めなおそ。



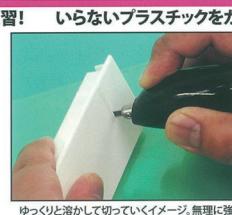
AC100Vのコンセントに差し、電源スイッチを入れよう！



ブッシュスイッチ押すと超音波振動ON！  
音はほとんどしない。



カットしたいものに刃をあて、ハンドビースのブッシュスイッチをON！



ゆっくりと溶かして切っていくイメージ。無理に強い力を加えない事。安全装置が作動して切れなくなってしまう。



机に対象物を置いて切る場合は、超音波専用カッターマットが必須。机までカットしてしまうぞ。



こんな風に割れたプラスチックも溶着（接着）できる。



刃を溶着刃に変えて押してあてるようにすれば簡単に溶着。



両面から溶着すればバツチリだ！

 ご注意  
刃物ですので、電源が入っていないても切れます。

取り扱いには十分にご注意下さい。

・絶縁能力のある特殊工具です。自己責任にてご使用下さい。

・間違った使い方により、ケガ・死亡事故が起こっても当店は一切責任を負いません。十分にご理解の上、ご使用下さい。

 危険  
ケガには、くれぐれも注意！

必ずゴーグル等の保護メガネを装着すること。

子供のいる場所では絶対に使用しないこと。

これを守らないと、死亡や身体に重大な損傷を招きます。